



盆休みを利用して北アルプス槍ヶ岳の北鎌尾根の縦走をしてきました。

**8月11日(日)** 予定より少し早くベースキャンプの横尾を出発しました。 天気もよく大曲、水俣乗越と快適に歩行しました。天井沢出合いまでの下りは急傾斜のガレ場と雪渓で苦労しましたが、ここも予定より早く着きました。 これからは急登がはじまるので、昼食と少し長めの休憩をとりました。この沢の登りはきつかったです。 本当にきつかったです。 実にきつかったです。 やっとのおもいで、本日のテント場に着きましたが、先客がいてテントが張れません(想定内ですが)30分ほど先に行って何とかテント場を見つけそこに張りました。

**8月12日(月)** 今日も朝から晴天、しかも昨日の予定より30分前に来ているので余裕を持って出発しました。360度のパノラマ、表銀座のスカイラインが実に綺麗です。 前には独標が覆いかぶさるようにそびえ、水晶岳、黒部五郎岳など、名だたる百名山が両手に余るほど望めます。ところが、途中から当初の余裕が吹っ飛び、ひとつ間違えると数百メートルの奈落の底というというトラバース、踏み外せば、、、うっかり浮石に手を掛ければ、、、の緊張の連続に精神的にも肉体的にも追い詰められました。 少しペースを緩め小休止を取りながら1歩1歩確実に前進しました。本丸、槍ヶ岳の基部に立ったときいよいよ最後ののぼりと全員で気持ちを引き締め登攀を開始しました。この登りはそう難しいところもなく順調に頂上にたつことができました。ここまで時間がかかりすぎたので、第3日目の南岳へのルートはあきらめ、殺生ヒュッテのテント場にテントを張り3日目はここから横尾のベースキャンプを目指し下山することにしました。

**8月13日(火)** 今日朝から快晴。 朝6時に殺生ヒュッテを出発し9時半には横尾のベースキャンプに帰ってきました。 特にすることもなく、屏風岩をみたいということと、涸沢から下山する第1班の迎えも兼ねて本谷橋までハイキング。 そこで、1班の方々と出会うことができ、疲れている人がいたら荷物を持とうと思っていたところ、全員元気でその必要がありませんでした。あとは、一緒に横尾まで戻ってきました。全行程を通じ非常に天気にも恵まれ苦しいながらも最高の山行ができました。



2013年9月 予定表

1	日		17	火	
2	月		18	水	
3	火		19	木	
4	水	近大付属福山中・高入試説明会(塾対象)	20	金	
5	木	銀河学院中・高入試説明会(塾対象)	21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	
9	月		25	水	おかやま山陽高入試説明会(塾対象)
10	火		26	木	
11	水		27	金	中2月例テスト
12	木	盈進中・高入試説明会(塾対象)	28	土	中3月例テスト
13	金		29	日	
14	土		30	月	
15	日				
16	月				

予習と復習の配分はバランスよく

いよいよ長かった夏休みも終わり、2学期が始まります。2学期はどの教科/学年でも重要な学習がめじろ押しですから、しっかりと準備して取り組むことが大切です。毎日の家庭学習の要となるのは何と言っても予習と復習。皆さんはしっかりとやっていますか。予習と復習をしっかりとやるということは授業を大切にすること。学力をアップさせるのにこれらが欠かせないことは言うまでもありません。

小学生の場合、科目の特性からいえば、算数は復習、そして国語、社会、理科(生活科)は予習に重点を置いた勉強が効果的です。というのは、算数はまだ習っていない単元をひとりで勉強するのはとても骨が折れるからです。また、新しい計算の規則などを予習の段階で覚え違えてしまうと授業を聞いていても疑問がわいてくるばかりで、それを修正するのにまた時間がかかってしまいます。逆に計算の規則などを確実に身につけるには、数多くの問題にあたるのが不可欠ですから、教科としては復習が適しているのです。

中学生の場合、小学生同様、復習がいちばん有効なのが数学で、あとは理科、社会、英語、国語の順になります。そしてこの逆が予習が有効な順番ということになるわけですが、中学生なら得意、不得意によっても変化をつけるべきで、得意科目なら予習に、そして不得意科目なら復習に重点を置くという考え方もあります。とにかく2学期以降は予習にしろ復習にしろ、これまでも増してしっかりと準備して学習を進めることが重要になることを肝に銘じてください。

小学生

目標を持った学習でまずは“スピード”よりも“正確さ”

「計算は速くなくてはいけない」「文章を読むのも速くなくてはいけない」というのは、中学受験をする子どもなら話は別ですが、ふつうの小学生にとって勉強の上で特に重要なことではありません。解答のスピードアップを図るのは受験が近づいてからでも遅くはなく、今はとにかく“スピード”よりも“正確さ”を心がけるべきです。

中学生

記述問題の重要度が上昇中

国語の問題集をやっている、記述式の問題に行きあたるとそこでもう白旗を上げてしまい、次の選択問題に移ってしまう生徒をよく見かけますが、これでは入試のときに困ってしまいます。この頃の入試問題は「考え方」を見る問題が多くなってきていて、記述式の問題が増えています。記述問題の克服に向けては、次のことを意識しながら問題に取り組んでみましょう。



8月に図書券をゲットした人

おめでとうございます。これからも頑張ってください!